

# 心のとびら

弥富市立桜小学校  
道徳通信 No.22  
平成27年10月27日

## 1-(1) “自制心”について考える

### ～2年生の道徳では～

10月20日(火)に2年竹組の教室で、道徳の授業を行いました。

<資料名>

『つりばしゆらそう』

<ねらい>

普段の学校生活で、児童は、ついつい調子に乗って危険なことをしてしまったり、だめだと分かっているが無茶なことをしてしまったりした経験があります。そこで、資料『つりばしゆらそう』を通して、度を過ごすことなく、安全に生活することについて考えました。

<資料の概要>

さるのモンタやモモ子が暮らしている「さるの国」には、東山と西山の間にふじづるの吊り橋がありました。モンタは、ブランコ遊びが大好きで、子猿たちとともに吊り橋を揺らして遊び始めます。モモ子が注意しても、さらに大きく吊り橋を揺らして遊んでいました。すると、モモ子が泣き出し、ふじのねを見ると、いまにも抜けそうな状態でした。

<実践>

資料を読んで、「今にも抜けそうなふじのねを見て、モンタたちはどう思ったか」を考えさせたところ、「やらなければよかった」「今度からはやめよう」という意見が出ました。また、「今日学んだこと」を発表した際には、「わたしも、ちょうしにのってあぶないことをしたから、これからはもうやめようと思った」「ちょうしにのってこんなにみんなをこまらせるなら、楽しくてもちょうしにのらない」など、調子に乗って危険なことをしないことや、危ないと思ったら自分の意思でやめようとする気持ちを深めることができました。

### みんなの意見（学習で学んだこと）

- ★ わたしもこのおさるのように、ちょうしにのりすぎて、あぶないことをしないようにしたいです。
- ★ わたしもちょうしにのってあぶないことをしたから、これからはやめようと思います。



「楽しくても、モモ子に注意されたとき、やめておけばよかった」とはんせいしたと思います。

ふじのねを見たとき、モンタたちは、どう思っただろう。

